

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
SB4	経営組織論 Theory of Organizational Management	藤田 幸敏	専門	2	選択	2年秋
<b>科目の概要</b>						
この講義では、経営学における組織論について学びます。経営学においては、代表的な組織形態が論じられていますが、それは企業発展の歴史と共に発展してきたものとも言えるものです。そこでこの講義では、代表的組織形態の長所と短所を明らかにした上で、現実企業の組織発展を視野に入れながら、組織形態がいかに発展していったのかを論じていきます。そのさい、組織の長所と短所について、実践的に理解することにより、組織そのものの実践的理解を目指します。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
代表的組織形態について理解する。 代表的組織形態の長所・短所について理解する。 組織形態の発展について、実践的理解を深めながら理解する。			代表的な組織形態について説明できる。 代標的な組織の長所と短所について、現実的感覚で説明できる。 組織のデザインが出来るようになる。			
<b>学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏 み出す 力	主体性	ア.経営組織論の問題を、自らの問題とすることができる。 イ.学修成果を身に着けるためにすべきことを理解し、主体的に取り組むことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	ア.その日の講義内容にそって、出席テストに取り組むことができる。 イ.定期試験問題の解答に向けて準備すべきことを、準備することができる。				
考え抜 く力	課題発見力	ア.経営組織に関する課題を、講義内容に即して見極めることができる。 イ.出席テストで要求されていることを、的確に把握することができる。				
	計画力					
	創造力	ア.経営組織に関する基礎的理解を通じて、新たな可能性を創造することができる。				
チーム で働く 力	発信力	ア.出席テストにおいて、自らの見解を発信することができる。 イ.講義内容の疑問点について、発信することができる。				
	傾聴力	ア.講義内容について、疑問点を探しながら聴くことができる。 イ.出席テストで求められていることを、正確に聴くことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	ア.受講にあたってのルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキストは使用しません。毎回プリントを配布しますが、基本的な参考書も、適宜紹介します。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:現代マネジメントを学ぶ、現代マネジメント論、現代経営論						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
・毎回の講義を大切に、毎回の出席テスト課題に真剣に取り組んで下さい。 ・常に現実の状況を念頭に置いて、考えるようにして下さい。 ・分からないことを分からないままにしないようにして下さい。			・言うまでもありませんが、ディスカッション等が求められている時以外の私語は厳禁です。 ・出席テストの代理解答が発覚した場合は0点とします。 ・遅刻は、社会人基礎力「規律性」の減点対象となります。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織形態を図示した上で長所・短所を問う問題と、その形態が生まれた理由(背景)について問う問題とで設問が構成されています。</li> <li>・従って、単に組織について理解するのではなく、現実の企業が歴史的にどう発展したのかの理解も重要となります。</li> <li>・その際、実践的理解を踏まえた独自見解が含まれていれば、より高い配点となります。</li> </ul>		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここで言う「小テスト」とは、毎回出席確認を兼ねて出される「出席テスト」のことです。</li> <li>・出席テストは、設問として要求されていることに的確に答えることが重要です。</li> <li>・的確な解答の前提として、講義内容を正しく聴いていることが重要です。</li> <li>・さらに、独自の意見が含まれていればより高い点を得ることが出来るでしょう。</li> </ul>	
					②	✓		
					③	✓		
					④			
					⑤			
		レポート				①		
						②		
						③		
						④		
						⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	社会人基礎力発揮の評価については、以下を観点とします。 <主体性>各回で取り上げる内容を自らの課題としているか。 <実行力>出席テストへの取り組みが、講義内容にそっているか。 <課題発見力>組織論に関する課題を見つけようとしているか。 <創造力>組織論の新たな可能性を模索しようとしているか。 <発信力>自らの意見を発信しているか。 <傾聴力>講義の内容やグループ内の意見を、正しく聴くことができているか。 <規律性>受講のルールを守り、人に迷惑をかけていないか。		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
代表的な組織形態について組織図が描け、長所・短所を説明できることに加え、各組織を実践的に理解し、現場組織のデザインができる。	代表的な組織形態について組織図が描け、長所と短所を説明できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	本講義で取り上げるの内容、講義の方法や方針と評価方法、受講にあたってのルール、社会人基礎力の必要性、本講義の評価における社会人基礎力の位置づけについて理解する。	講義	社会人基礎力の意義と本講義の評価方法について理解している。	(予習)シラバスを良く読んでおいて下さい。 (復習)社会人基礎力について再度整理し、全体的な評価方法についての理解を確認して下さい。	90	課題 発見力 傾聴力 規律性
2週 /	そもそも経営学とは何か、および経営学における経営組織論の位置づけと意味について理解する。	講義	経営組織論とは何かについて理解している。	(予習)経営組織論について、調べて下さい。 (復習)「組織」の意味について整理して下さい。	180	主体性 創造力 傾聴力 規律性
3週 /	組織原則とライン組織の形態について理解する。	講義	ライン組織を組織図として理解している。	(予習)ライン組織について、調べて下さい。 (復習)組織原則について、整理して下さい。	180	主体性 実行力 課題 発見力 規律性
4週 /	先週の出席テストの、自身の解答を披露し、相手の解答を聞いた上で、ライン組織の長所と短所について理解する。	ペア・ワークと講義	ライン組織の長所・短所を上げる事ができる。	(予習)ライン組織の長所と短所について、考えて下さい。 (復習)ライン組織の長所と短所をまとめて下さい。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	ライン組織の事例を知った上で、グループで話し合い、現実のライン組織を見つけてる。	講義とグループワーク	現実のライン組織を上げる事ができる。	(予習)身近なライン組織を見つけて下さい。 (復習)ライン組織がどのようなものか、整理して下さい。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
6週 /	ファンクショナル組織の形態について理解する。	講義	ファンクショナル組織を組織図として理解している。	(予習)ファンクショナル組織について、調べて下さい。 (復習)ライン組織とファンクショナル組織の違いについて、整理して下さい。	180	主体性 実行力 課題 発見力 規律性
7週 /	先週の出席テストの、自身の解答を披露し、相手の解答を聞いた上で、ファンクショナル組織の長所と短所について理解する。	ペア・ワークと講義	ファンクショナル組織の長所・短所を上げる事ができる。	(予習)ファンクショナル組織の長所と短所について、考えて下さい。 (復習)ファンクショナル組織の長所と短所をまとめて下さい。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	ファンクショナル組織の事例を知った上で、グループで話し合い、現実のファンクショナル組織を見つける。	講義とグループ・ワーク	現実のファンクショナル組織を上げる事ができる。	(予習)身近なファンクショナル組織を見つけて下さい。 (復習)ファンクショナル組織がどのようなものか、整理して下さい。	180	主体性 実行力 創造力 規律性

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	これまでの内容と、自身の行動(社会人基礎力発揮)について振り返る。	プリント作成作業	自身の社会人基礎力発揮について自己評価できている。	(予習)社会人基礎力について、整理して下さい。 (復習)プリントに記載した内容を元に、自身の行動について考えて下さい。	180	主体性 実行力 規律性
10週 /	ライン・アンド・スタッフ組織の形態について理解する。	講義	ライン・アンド・スタッフ組織を組織図として理解している。	(予習)ライン・アンド・スタッフ組織について、調べて下さい。 (復習)スタッフの概念について、整理して下さい。	180	主体性 傾聴力 規律性
11週 /	事業部制組織の形態について理解する。	講義	事業部制組織を組織図として理解している。	(予習)「T型」フォードについて、調べて下さい。 (復習)「組織は戦略に従う」という言葉の意味を再考して下さい。	180	課題 発見力 創造力 規律性
12週 /	先週の出席テストの、自身の解答を披露し、相手の解答を聞いた上で、事業部制組織の長所と短所について理解する。	ペア・ワークと講義	事業部制組織の長所・短所を上げる事ができる。	(予習)事業部制組織の長所と短所について、考えて下さい。 (復習)事業部制組織の長所と短所をまとめて下さい。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	事業部制組織の事例を知った上で、グループで話し合い、現実の事業部制組織を見つける。	講義とグループ・ワーク	現実の事業部制組織を上げる事ができる。	(予習)身近な事業部制組織を見つけて下さい。 (復習)事業部制組織がどのようなものが、整理して下さい。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
14週 /	これまでの内容と、自身の行動(社会人基礎力発揮)について振り返る。	プリント作成作業	自身の社会人基礎力発揮について自己評価できている。	(予習)社会人基礎力について、整理して下さい。 (復習)これまでの講義内容全体を復習して下さい。	180	主体性 実行力 規律性
15週 /	全体の講義内容について振り返りを行い、定期テストの詳細について理解する。	講義	定期テストを含む、講義全体の評価方針について理解している。	(予習)定期試験の出題形式・出題方針について、今までの情報から、おさらいして下さい。 (復習)定期試験のルーブリック、詳細について整理して下さい。	270	主体性 実行力 課題 発見力 規律性

能力名：①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力  
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力